



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月8日

上場会社名 日特エンジニアリング株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6145 URL http://www.nittoku.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 進茂
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 磯田 博 (TEL) 048 (837) 2011
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	22,447	42.3	3,156	88.8	3,167	74.3	2,212	78.1
29年3月期第3四半期	15,778	0.5	1,671	38.6	1,816	36.8	1,242	5.4

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 3,112百万円(116.2%) 29年3月期第3四半期 1,439百万円(33.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	122.46	—
29年3月期第3四半期	68.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	37,293	25,611	68.5
29年3月期	33,695	23,006	68.1

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 25,544百万円 29年3月期 22,948百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
30年3月期	—	14.00	—		
30年3月期(予想)				14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	20.3	3,850	34.0	3,900	30.3	2,800	25.6	154.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)ー、除外 一社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	18,098,923株	29年3月期	18,098,923株
30年3月期3Q	31,144株	29年3月期	30,969株
30年3月期3Q	18,067,918株	29年3月期3Q	18,068,128株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、保護主義的政策の台頭や地政学上のリスクへの警戒が懸念されながらも、アメリカの好景気、ヨーロッパの景気回復や堅調な指標を維持する中国経済に支えられ、上昇トレンドが続きました。

特に、社会変革の大きな奔流となっているAI、ロボット、IoT、EV、自動運転、電子デバイスなどの開発、また、ソフトやデータビジネスのイノベーションは、激しくなるグローバル競争の一方で、ボーダレスな協力や連携もスピーディーかつダイナミックに展開し、景気上昇の原動力となりました。

当社グループの主要顧客が展開しているマーケットは、EVモータ、車載モータ、車載電子部品、ロボティクス部品、スマートフォンやタブレットなど電子端末、IoTデバイス、センサーや通信モジュール、ワイヤレスデバイスなどの電子部品、各種モータシステム、ホームアプライアンス、産業機器、省電機器、発蓄電機器、医療機器、ICタグなどで、その大半が前述の変革を担う事業領域として躍進しています。

当社グループは、これらマーケットで競合するメーカーの製品であるハードやデバイスの高品質生産、高効率生産、省人生産や一貫ライン生産といった高度化するニーズに応えること、また、さまざまな課題を解決することにより幅広い業種で顧客の生産技術を代行し、顧客の付加価値創造の重要な部分を担うというパートナー戦略を進めてきました。具体的には、コイル、モータの生産設備で培った技術をベースに展開し、前述マーケットのコアとなるデバイス、モジュールの多様なFA生産ラインの研究開発、人材開発、能力増強へのリソースの投下、オープンイノベーションの活用を積極的に行いました。

これらの結果、売上高は224億47百万円（前年同期比42.3%増）、営業利益は31億56百万円（前年同期比88.8%増）、経常利益は31億67百万円（前年同期比74.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は22億12百万円（前年同期比78.1%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来「巻線機事業」としていた報告セグメントの名称を「ワインディングシステム&メカトロニクス事業」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

(ワインディングシステム&メカトロニクス事業)

当第3四半期連結累計期間の生産状況は、前第3四半期連結累計期間にあった大型案件60億円を含む受注累計は198億42百万円でしたが、当期受注累計はこれを上回る219億52百万円となり、繁忙な稼働が続いています。福島・長崎両工場の拡張効果が来年以降になるため、現在は、日特蘇州社を中心に海外生産の強化、設計・部品の共通化・合理化、ビジネスパートナーの増強などにより生産体制の強化を図っています。事業分野別では、情報通信分野において、スマートフォン、車載、IoTデバイスなどを扱う電子部品メーカー向けのスピーカやレーザーモジュール、パワーインダクタ等の製造設備ラインが、また、自動車分野では、世界的な広がりを見せる自動車の電動化に向けたモータ製造設備ラインの売上げが好調に推移しました。また、AV・家電分野で家電用モータ製造設備ラインが堅調に推移しました。一方、受注では、情報通信分野において、前第3四半期の大型受注60億円が剥落したものの、設備のFAライン化ニーズによる一プロジェクト当たりの受注単価の増加、当社グループの生産性の向上などにより堅調な推移が続きました。また、自動車、AV・家電分野でも同様にFAライン化ニーズの増大などにより、好調に推移しました。

これらの結果、全売上高の約96%を占めるワインディングシステム&メカトロニクス事業におきましては、前述の結果、連結売上高は214億78百万円（前年同期比49.0%増）、セグメント利益（営業利益）は36億63百万円（前年同期比77.7%増）となりました。なお、当社個別ベースでの受注高は232億19百万円（前年同期比12.2%増）、売上高（生産高）は192億43百万円（前年同期比48.9%増）、当第3四半期末の受注残高は174億43百万円（前年同期比9.4%増）となりました。

(非接触ICタグ・カード事業)

当第3四半期連結累計期間では、生産管理用FAタグ、IDカードにおいて顧客側の導入ペースが減少し、前年同期比で減少となりました。

これらの結果、非接触 I C タグ・カード事業におきましては、連結売上高は 9 億 68 百万円（前年同期比 29.1% 減）、セグメント利益（営業利益）は 2 億 24 百万円（前年同期比 16.9% 減）となりました。なお、当社個別ベースでの受注高は 8 億 15 百万円（前年同期比 45.0% 減）、売上高（生産高）は 9 億 68 百万円（前年同期比 29.1% 減）、当第 3 四半期末の受注残高は 2 億 44 百万円（前年同期比 36.8% 減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

流動資産は前連結会計年度末対比 26 億 75 百万円増加し、291 億 15 百万円となりました。これは主として、現金及び預金が 11 億 24 百万円、仕掛品が 13 億 76 百万円増加したことによります。

固定資産は前連結会計年度末対比 9 億 22 百万円増加し、81 億 78 百万円となりました。これは主として、投資有価証券が 8 億 40 百万円増加したことによります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末対比 35 億 98 百万円増加し、372 億 93 百万円となりました。

（負債）

流動負債は前連結会計年度末対比 6 億 93 百万円増加し、108 億 67 百万円となりました。これは主として、電子記録債務が 6 億 71 百万円増加したことによります。

固定負債は前連結会計年度末対比 2 億 99 百万円増加し、8 億 14 百万円となりました。これは主として、繰延税金負債が 2 億 78 百万円増加したことによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末対比 9 億 92 百万円増加し、116 億 81 百万円となりました。

（純資産）

純資産計は前連結会計年度末対比 26 億 5 百万円増加し、256 億 11 百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の数値は、今後のさまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。なお、平成 29 年 5 月 12 日に公表いたしました業績予想を修正いたしました。詳細については、平成 29 年 11 月 8 日に公表しました「平成 30 年 3 月期業績予想の修正に関するお知らせ」も併せてご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,467,653	14,592,477
受取手形及び売掛金	6,321,167	5,911,880
有価証券	—	100,480
仕掛品	5,128,043	6,504,254
原材料及び貯蔵品	600,158	740,912
繰延税金資産	261,728	276,274
その他	704,095	1,026,798
貸倒引当金	△43,741	△38,046
流動資産合計	26,439,105	29,115,032
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,846,683	1,985,062
機械装置及び運搬具(純額)	546,344	488,930
土地	691,468	700,297
その他(純額)	506,470	422,340
有形固定資産合計	3,590,966	3,596,630
無形固定資産		
のれん	33,926	22,617
その他	158,289	159,516
無形固定資産合計	192,215	182,134
投資その他の資産		
投資有価証券	2,616,369	3,457,367
その他	856,440	942,172
投資その他の資産合計	3,472,810	4,399,540
固定資産合計	7,255,992	8,178,305
資産合計	33,695,098	37,293,337

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,126,182	2,890,987
電子記録債務	3,777,497	4,448,572
未払法人税等	558,465	740,136
賞与引当金	459,060	322,258
その他	2,252,400	2,465,368
流動負債合計	10,173,608	10,867,322
固定負債		
繰延税金負債	212,331	490,820
退職給付に係る負債	98,402	118,995
その他	204,706	204,706
固定負債合計	515,440	814,522
負債合計	10,689,048	11,681,845
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,884,928	6,884,928
資本剰余金	2,542,054	2,542,054
利益剰余金	12,602,186	14,308,856
自己株式	△23,937	△24,729
株主資本合計	22,005,232	23,711,110
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	571,936	1,212,539
為替換算調整勘定	424,857	666,323
退職給付に係る調整累計額	△53,869	△45,074
その他の包括利益累計額合計	942,924	1,833,788
非支配株主持分	57,893	66,593
純資産合計	23,006,049	25,611,492
負債純資産合計	33,695,098	37,293,337

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	15,778,863	22,447,537
売上原価	11,198,241	16,207,640
売上総利益	4,580,621	6,239,896
販売費及び一般管理費	2,908,658	3,083,233
営業利益	1,671,962	3,156,663
営業外収益		
受取利息	27,148	34,630
受取配当金	31,540	33,742
為替差益	40,145	—
その他	54,932	41,680
営業外収益合計	153,767	110,053
営業外費用		
為替差損	—	56,941
その他	8,734	41,924
営業外費用合計	8,734	98,865
経常利益	1,816,995	3,167,851
特別利益		
投資有価証券売却益	—	25,133
特別利益合計	—	25,133
税金等調整前四半期純利益	1,816,995	3,192,985
法人税、住民税及び事業税	284,292	994,404
法人税等調整額	288,228	△19,137
法人税等合計	572,521	975,267
四半期純利益	1,244,473	2,217,718
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,817	5,146
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,242,655	2,212,572

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	1,244,473	2,217,718
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	240,797	640,602
為替換算調整勘定	△83,484	245,019
退職給付に係る調整額	37,752	8,795
その他の包括利益合計	195,064	894,417
四半期包括利益	1,439,538	3,112,135
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,436,778	3,103,436
非支配株主に係る四半期包括利益	2,760	8,699

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ワイディングシステム &メカトロニクス事業	非接触ICタグ・カード 事業	
売上高			
外部顧客への売上高	14,411,706	1,367,157	15,778,863
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	14,411,706	1,367,157	15,778,863
セグメント利益	2,061,868	270,279	2,332,147

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,332,147
全社費用(注)	△660,185
四半期連結損益計算書の営業利益	1,671,962

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	ワインディングシステム &メカトロニクス事業	非接触ICタグ・カード 事業	
売上高			
外部顧客への売上高	21,478,564	968,972	22,447,537
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	21,478,564	968,972	22,447,537
セグメント利益	3,663,748	224,603	3,888,351

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,888,351
全社費用(注)	△731,688
四半期連結損益計算書の営業利益	3,156,663

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「巻線機事業」としていた報告セグメントの名称を「ワインディングシステム&メカトロニクス事業」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。また、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの名称で記載しております。